

2019-06-06 医療情報学会
チュートリアル

PHRのめざすもの — PHR協会による定義 —

PHR協会 理事
(埼玉メディカルセンター)
安藤 裕



目次

- PHR協会：これまでの活動
- PHR協会の定義するPHRとは
- PHRの今後

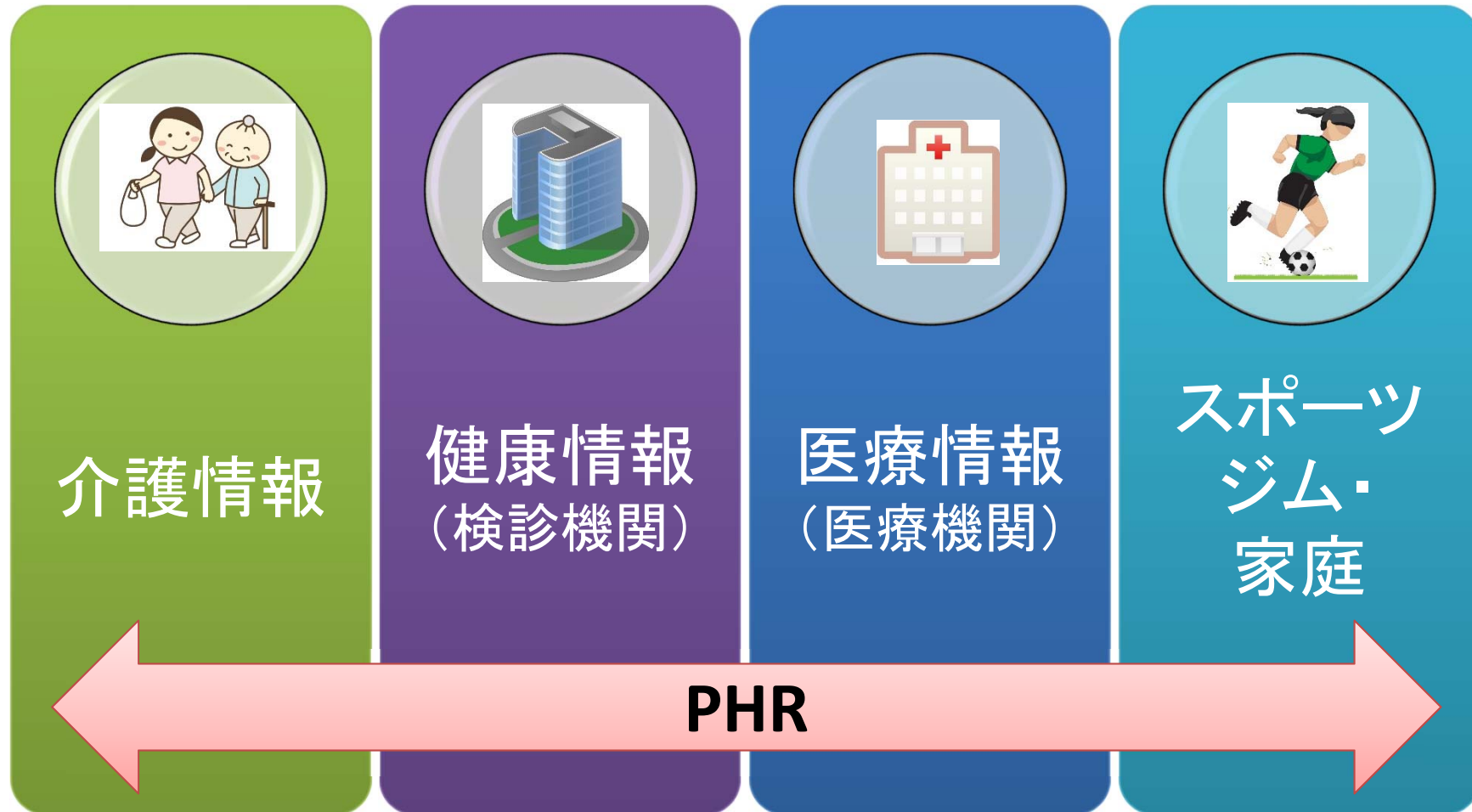


PHR協会：これまでの活動

PHRとは

- ✦ 「自分の健康情報は自分で管理する」という概念で考えられた。定まった定義はなく、各人のPHRに対する考え方は食い違っている場合がある。
- ✦ Personal Health Record
- ✦ Patient Health Record
- ✦ 個人健康記録
- ✦ 個人電子健康手帳
- ✦ 生涯型電子カルテ
- ✦ 個人医療記録

PHRのコンテンツ

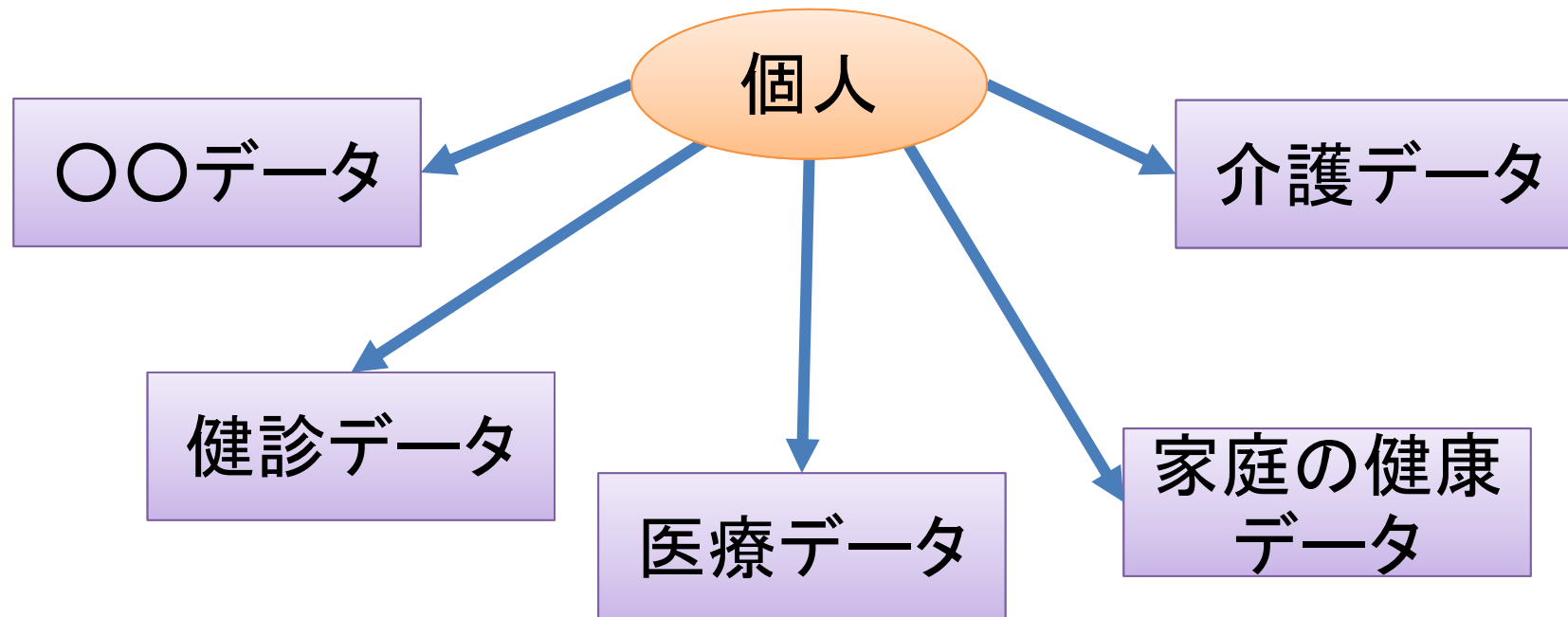


●PHRをどのようにとらえるかは、人それぞれ。

PHRの背景

- ✦ 多くの人々がPHRに注目しているが、十分に実用化に至っていない。また、情報の重要性や価値などが明確でなく、どのような情報をどのような手段で収集し、活用するのかはっきりしない。
- ✦ PHR協会としては、以下の項目に関する検討を行って来た
 - 対象とするデータの範囲
 - 内容の最適化
 - 情報の取得・管理方法
 - PHRの定義

一元管理へ



個人が、自己の判断で情報を取捨選択し、自分で一元管理し、健康増進に役立てる。

PHRの課題

- ✦ 各事業所では、毎年健康診断が行われているが、この検診データは十分に活用されていない。また、健診データは、医療機関などと連携して、健診と医療の情報が一元的に管理されるべきである。
- ✦ PHR協会は、このような現状を少しでも改善しようとして発足し、**個人健康記録**の確立と活用を模索している。

PHR協会

- 平成24年(2012年) 設立
- PHR協会の定款より:協会はPHR(Personal Health Records: 個人健康記録)の活用と普及を通して、世界人類の健康増進と医療に貢献することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。
 - (1) PHRの安全で効果的な利用方法に関する**研究・実証実験**
 - (2) PHRの普及や活用に必要な**標準化**
 - (3) PHRに関する情報の**提供・教育**
 - (4) PHRデータを利用した健康管理や医療に関する**統計解析手法の研究**
 - (5) 前各号に掲げる事業に附帯又は関する事業

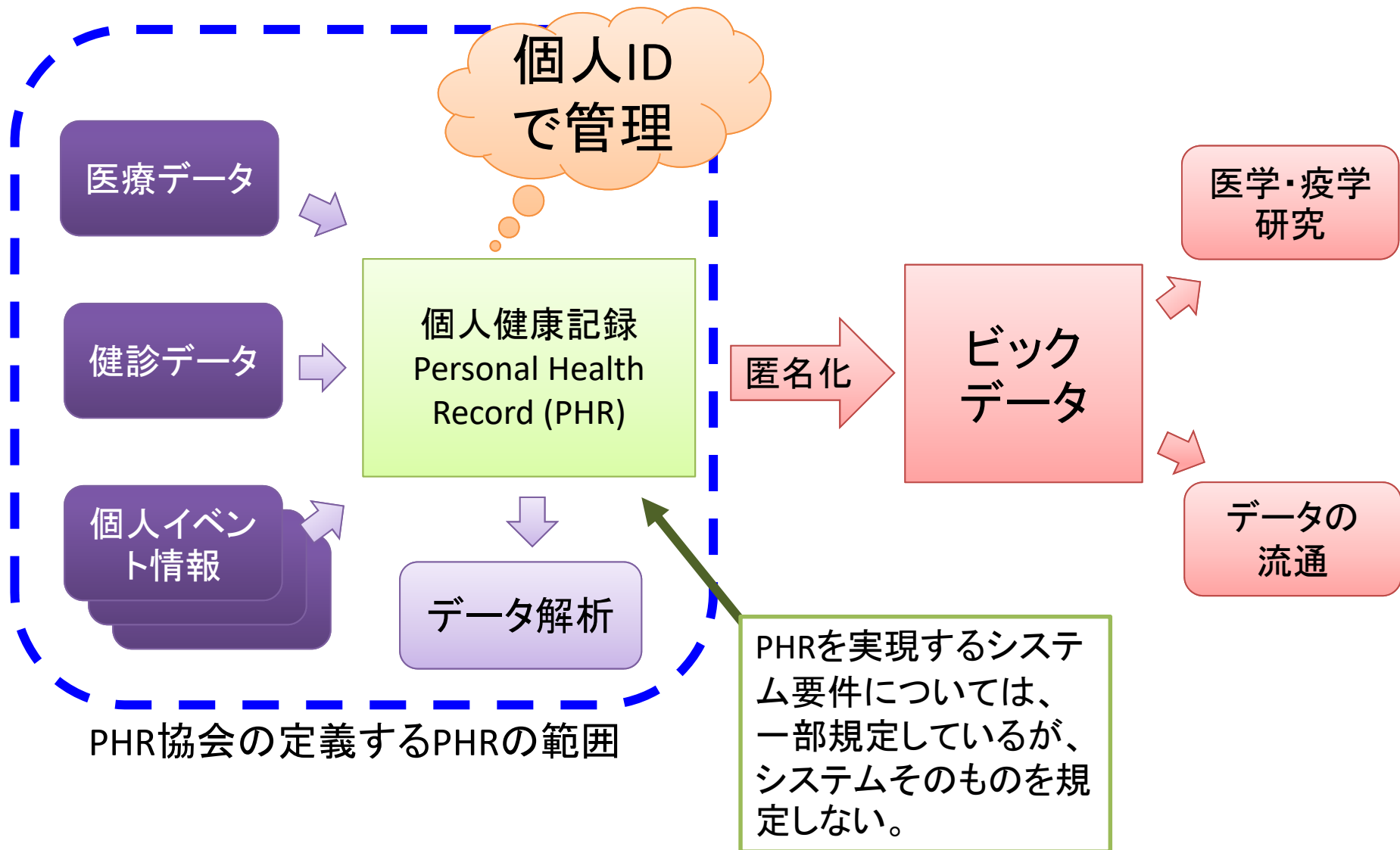


PHR協会の定義するPHRとは

PHR協会が考えるPHR定義

- ✦ 2015-07-18 PHR協会の講演会で「PHR」の概念を議論した。この講演会の議論を踏まえて、PHR定義を公開する方針とした。
- ✦ 2015-11-27 PHR協会としての「PHR定義」を作成し、広く一般の方々からご意見を募集。

PHR概念図



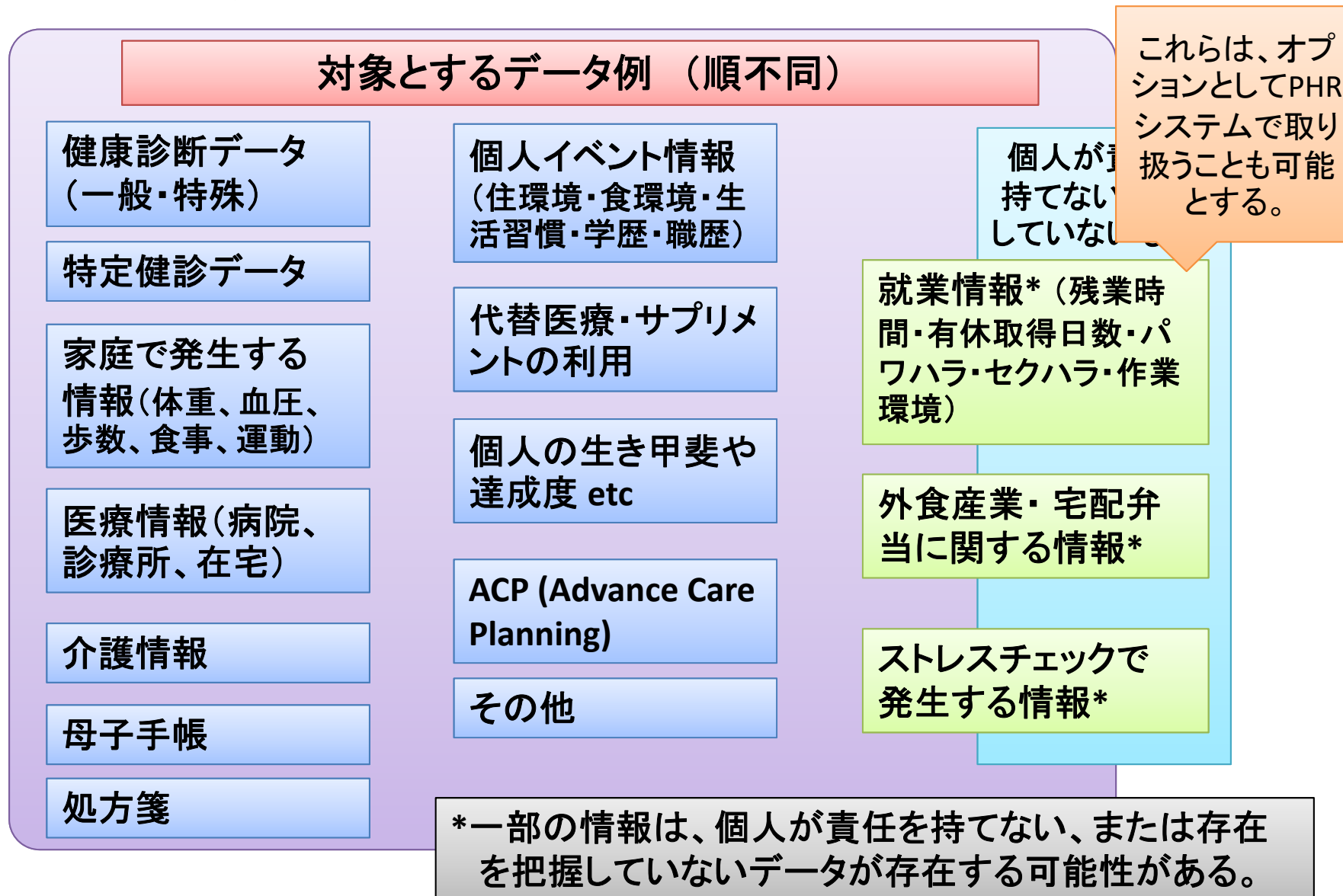
背景・スコープ

- ✦ **背景**: 本PHR定義は、PHRの内容、目的などを定義し、PHR協会内外の人との議論を円滑にするためのものである。そのため、この定義は議論を深めるためのものであり、他のPHRの概念と**必ずしも**一致するものではない。
- ✦ **スコープ**: 本定義は、PHRの内容、目的などをスコープとし、データベースなどのシステムを規定するものではない。また、データを匿名化したもの（新個人情報保護法における「匿名加工情報」に準拠して匿名化したもの）は、**本PHRの対象外**である。

対象とするデータ

- ✦ 個人がPHRに必要なデータはすべて対象とし、個人が必要と思うものを、PHRで集積・管理することができる。
- ✦ 対象データを個人が取捨選択することができる。**表1参照。**

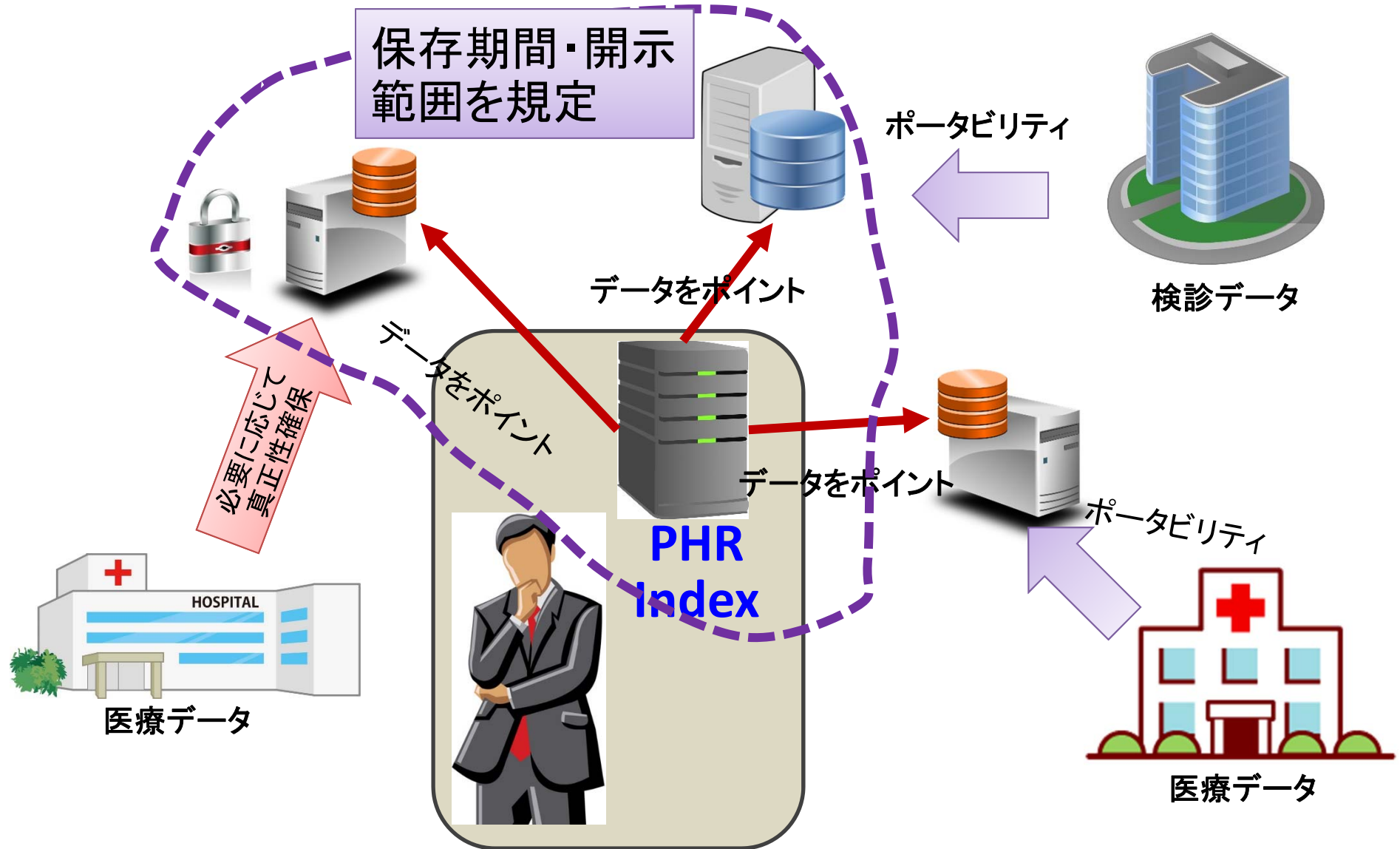
表1 PHRの対象と管理



システム要件

- ✦ 個人単位にすべての情報をインデックス(所在管理)できること。
- ✦ システム間のポータビリティを保証する(標準規格を使用する)。
- ✦ メタデータも含めて記録できること。
- ✦ 必要に応じて**真正性**を担保できること。
- ✦ 本人が開示範囲をコントロールできる仕組みを備えること。

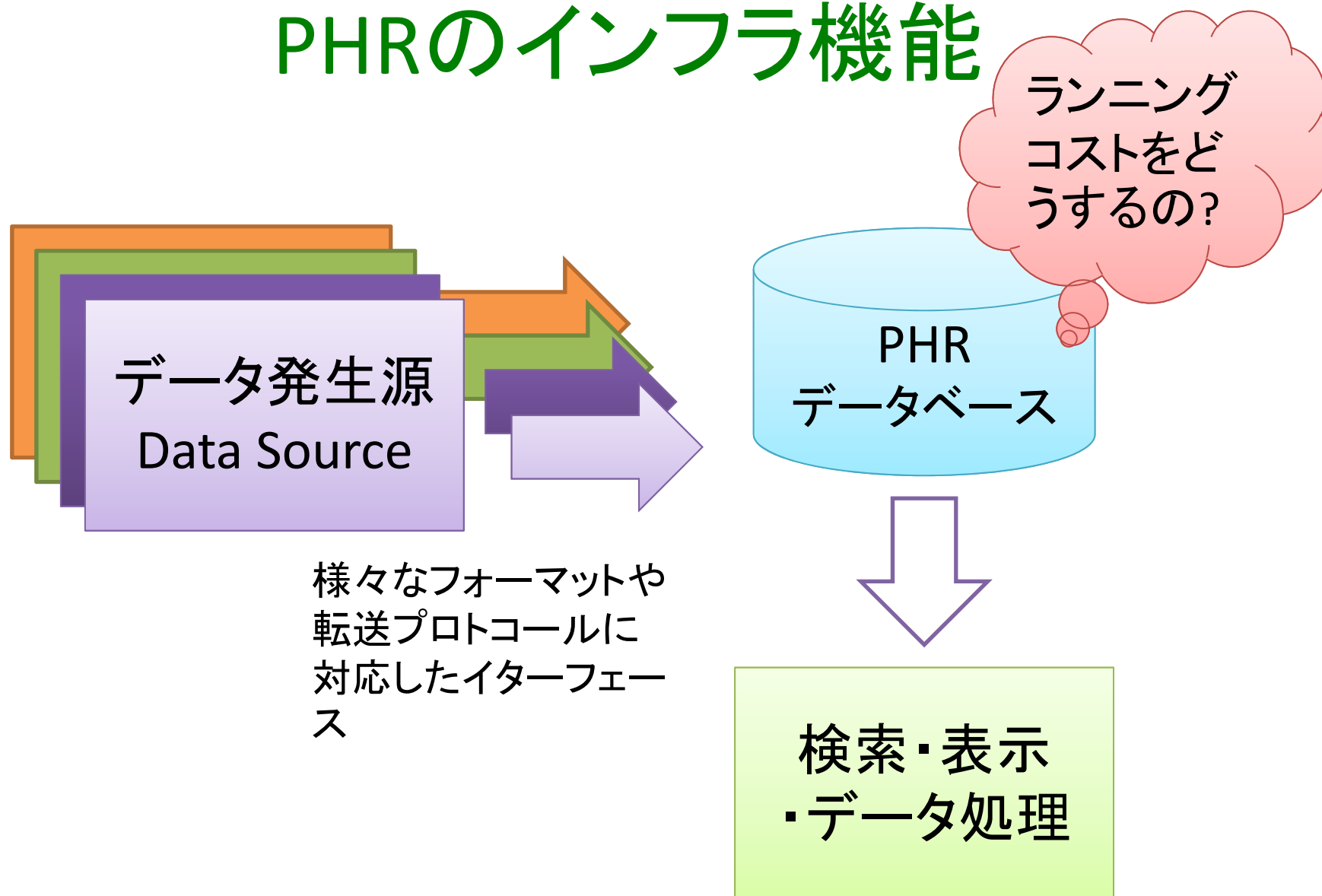
管理方法概念図



PHRの目的

- ✦ PHRの目的は、個人の健康・医療・介護データなどを総合的に管理し、経時的に参照することにより、個人の健康増進や疾病の予防・管理・治療などを通して、国民の健康レベルの向上を図る。

PHRのインフラ機能



失敗?

Personal Health Record 事例

- ✦ Google Health: 2006 – 2012。処方箋管理、投薬履歴、通院記録などを集約する健康関連情報のハブとして機能すべく2008年にスタート。2012年に終了。
- ✦ Microsoft HealthVault: 2007 –。「健康情報をオンラインで収集、保存、使用、共有できる、信頼できるサイトです。」(Webより)。健康情報の金庫室あるいは貯蔵室の意味。インフラ機能を提供している。2019年11月20日終了。



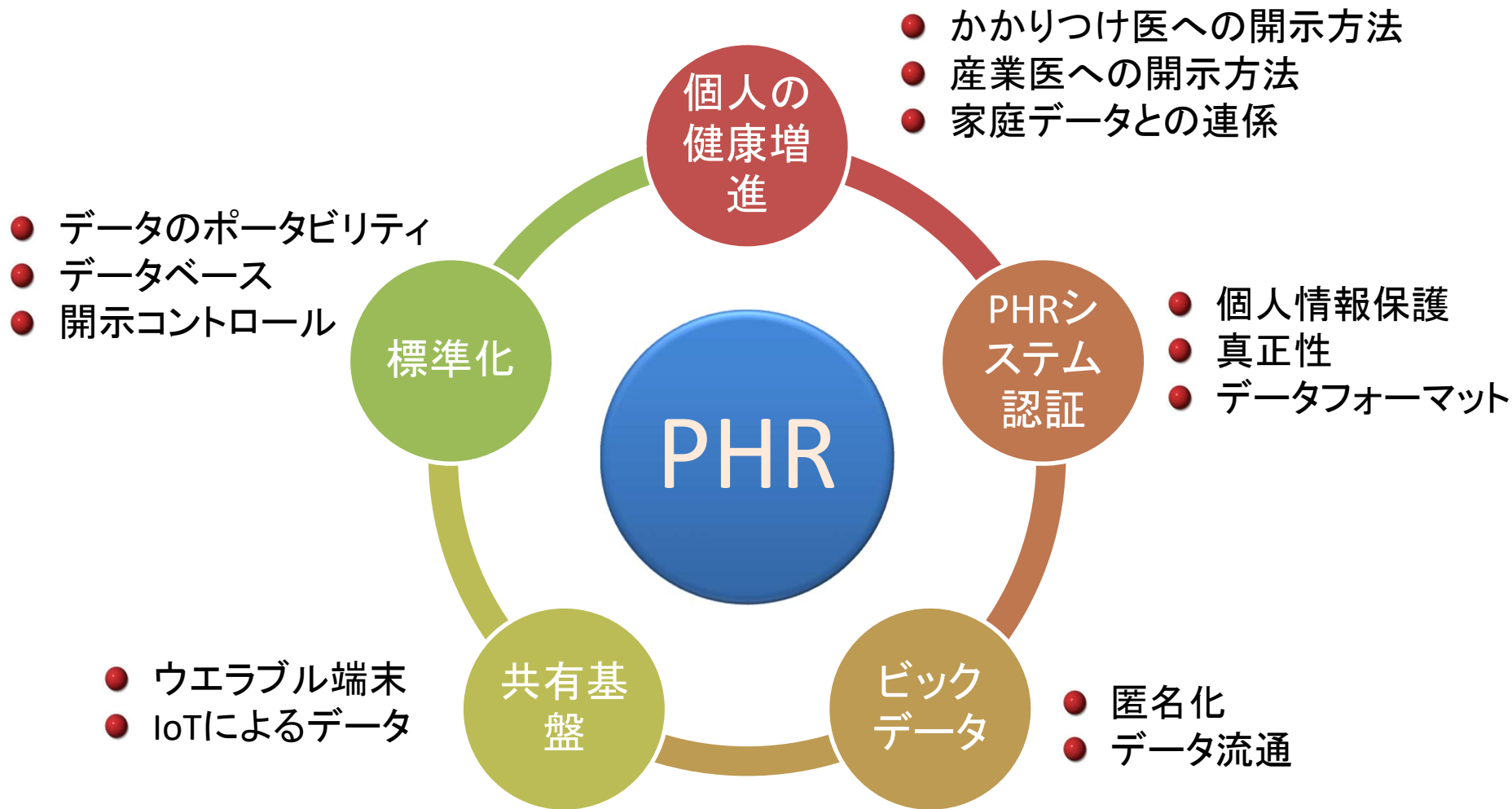
PHRの成功事例を考える

PHRの今後

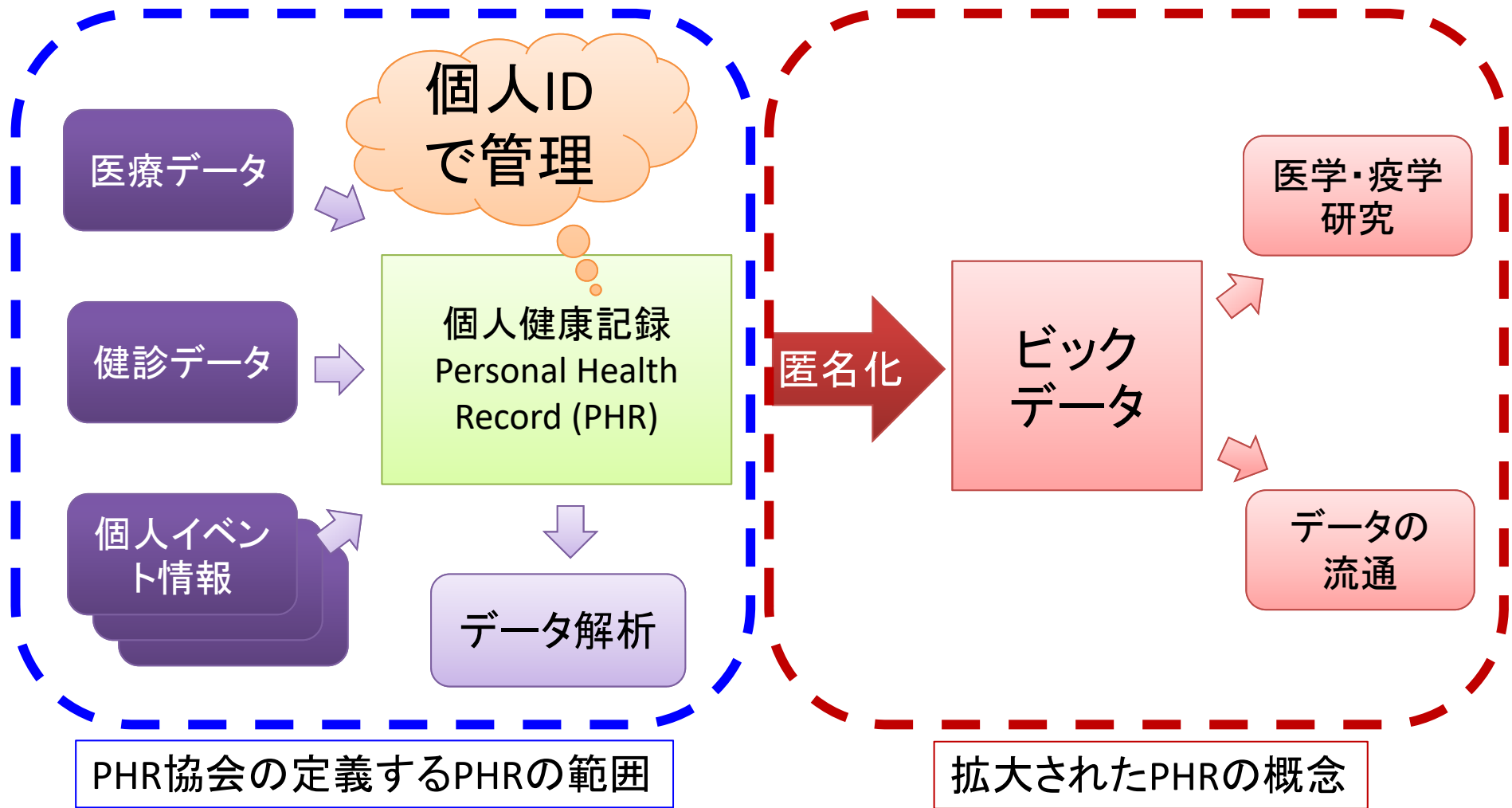
PHR成功事例のKey

- ✦ 総論では理解できるが、各論として、実際に健康増進などのアプリケーションを作成する。
- ✦ ビッグデータを分析して、ランニングコストを生み出すビジネスモデルを作成。
 - 保険料金
 - 疾病予防
 - 匿名化によるデータ流通
 - 副作用情報
 -

PHRに関するトピックス



PHR概念図



今後は、拡大された匿名データのPHRも検討対象となる。

現状の総括

- ✦ データの共有基盤： 技術的に可能
- ✦ コンテンツの標準化： 画像、検査結果などは利用できる
- ✦ 自己決定権： ルールやガイドラインが必要
- ✦ 2次利用： コンセンサスが必要
- ✦ 受益者への還元： 今後の最大の課題であろう。ビジネスモデルをどのように構築し、運用費用が賄えるか。

ご清聴ありがとうございました。

END

